

つながり

市同協加布里支部

令和6年11月1日発行

平成10年起

第102号

加布里コミュニティセンター(歌舞里館)

TEL/FAX322-3026

2024

フィールドワーク活動報告

10月17日(木)佐世保へ行ってきました

むきゅうどう

無窮洞

第二次世界大戦のさなか(1943年)、当時の宮村国民学校の教師と小学生たちが掘った巨大な防空壕のことです。二年もの歳月をかけて掘られた防空壕は、子どもが掘ったものとは思えない程の頑丈且つ美しい曲線美の洞窟でした。

今回案内して下さった方は、無窮洞保存会の中で唯一当時を知る92歳のボランティアの方。生々しい当時の話を伺えたことは大変貴重な時間となりました。防空壕内には、教壇や竈、食材庫などもあり戦火が激しくなっても尚、学ぶことや生きることを諦めない魂の叫びが聞こえてくるような場所でした。



到着後説明を受ける様子



手廻りの際に使用した道具



防空壕内部



内部の空気循環の為に使用した脱穀機



到着後説明を受ける様子



防空指揮所入口



地下通路



昼食の海軍カレー



当時のエアコン

海上自衛隊地方総監部 旧佐世保鎮守府防空指揮所跡



昭和20年6月の佐世保空襲の際に被害を免れた、防空指揮所でしたが不審火により残念ながら内装は焼け落ちていました。しかしながら、堅牢に造られた地下壕本体は当時を彷彿とさせる異空間でした。まずは、比較的原形を残しているトイレから見学スタート。当時としては、大変珍しい水洗式なことも意味があるとのこと。そこから、説明を聞きながら地下道を進むと、実際に高射砲台を行っていた指揮所に到着。一歩足を踏み入ると、そこは息を呑むような光景が広がっていました。

旧佐世保 無線電信所

西海橋の近くにそそり立つ、鉄筋コンクリート製の三本の塔。針尾無線塔は大正11年旧日本軍の手によって4年の歳月と155万円(現在の価値で250億円相当)の費用を投じて建設されました。真珠湾攻撃の暗号電文「ニイタカヤマノボレ1208」は、この無線塔でも中継されたといわれています。現在は、国重要文化財に指定され、施設の一部を見学することができます。徒歩で3号塔に近づくに連れ、遠くから見る無線塔とは全く違う圧倒的な存在感と大迫力に、思わず「うわあ!」と歓声が上がっていました。内部から、見上げた景色は圧巻でした。

参加者からの感想

座学や映像や書物での学びも大切だが、本物を見て体験することで得られた学びが大変多く、フィールドワークの意義を感じた一日だった。

「百聞は一見にしかず」
内部の様子は……
是非、現地に足を運んで
みてはいかがでしょうか。



真下から見た3号塔



3号塔をバックに集合写真



送信機電源室

令和6年度 人権映画祭

天海祐希 吉永小百合

二人が見つげ出す最高の奇跡

©2019「最高の人生の見つけ方」製作委員会

入場無料
事前申込不要

家庭のために生きてきた幸枝と、会社のために生きてきたマ子。全く違う世界に暮らしてきた2人が偶然に出会い、自分たちの唯一の共通点は余命宣告を受けたことだと知る。主婦業と仕事以外に何もやりたいことのない人生の虚しさに気づいた幸枝とマ子は、たまたま手にした12歳の少女の「死ぬまでにやりたいことリスト」を実行するという無謀な旅に出る。今までの自分なら絶対にやらないことに、自ら殻を破って飛び込む2人。初めて知った生きる喜びに輝く2人は、家族や周囲のものたち、さらには旅先で出会った人々も巻き込み、彼らの人生さえも変えていく。

日時：12月7日(土) 13:30開場 14:00開演
場所：加布里コミュニティセンター 3階大会議室
内容：加布里小学校5・6年生の人権標語入選者発表・表彰
コーラスコスモスの歌♪埴生の宿♪見上げてごらん夜の星を 他(全5曲)

映画 「最高の人生の見つけ方」 上映

主催：糸島市人権・同和教育推進協議会加布里支部

(問い合わせ先) 加布里コミュニティセンター「歌舞里館」 (☎322-3026)